

三浦さん(是川中)、木本さん(ウルスラ高)

栄冠、輝くチャンプ本

知的書評合戦
**BIBLIO
BATTLE
IN HACHINOHE**

決勝戦

知的書評合戦「第12回ビブリオバトルin八戸」(デーリー東北新聞社、八戸学院大共催)の決勝戦が8日、八戸市の同社で開かれた。中学生の部は4人、高校生の部は6人が出場し、一推しの本の魅力を熱弁。中学生は市立是川中3年の三浦広真さん(15)の「サンショウウオの四十九日」(朝比奈秋著)が、高校生は一般は八戸聖ウルスラ高2年の木本萌衣さん(16)が紹介した「世界でいちばん透きとおった物語」(杉井光著)がそれぞれチャンプ本に輝いた。(取材班)

チャンプ本に輝いた三浦広真さん(左)と木本萌衣さん(右)。デーリー東北新聞社

中高生から大人まで 出場者、推しの魅力熱弁

ビブリオバトルは、発表者がお薦めの本を持ち寄って魅力を紹介し、出場者、観客が一番読みたくなった本を投票で決めるゲーム。2014年に始まった同大会は発表5分、質疑応答2分を持ち時間とし、中学生の部は24年に新設された。快活な発表が目立った中学生の部は上位2人が得票同数となり、決選投票を実施した。結合双生児をテーマとした芥川賞受賞作品を扱った三浦さんは「他の皆さんの発表がうまかったの、まさか自分が選ばれるとは驚いた様子だった。9月の予選を勝ち抜いた高校生、一般の6人は、内容に磨きをかけて登壇。電子書籍化は絶対不可能とされる推理小説を取り上げ、自身の思いを情感たっぷりに表現した木本さんは「他の人の発表も印象的で、読みたい本ばかり。本の魅力が伝わったと思うとうれしい」と喜びを語った。同日は、特別ゲストの作家彩瀬まるさんによる講演も行われた。

コミュニティラジオ局BeFMでは、22日午後2時半と25日午後9時の2回、決勝戦の様子を紹介した番組を放送する。準チャンプ本は次の通り。

◇高校生「一般の部」濱

浦大翔「ヘルパー」自閉症は津軽弁を話さない「自閉スペクトラム症のことばの謎を読み解く」(松本敏治著)

◇中学生の部「木内美希

掲載します。

※13日付特集面に詳細を